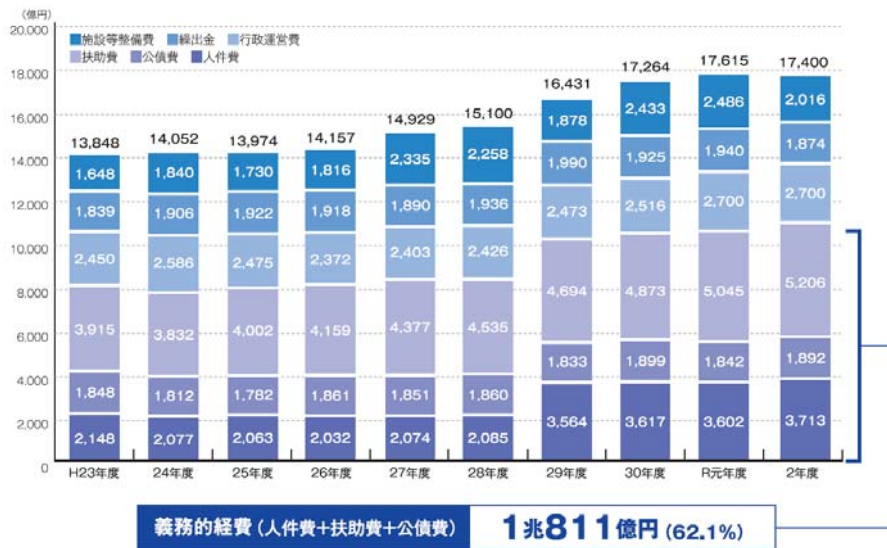


(参考)

横浜市の財政状況について

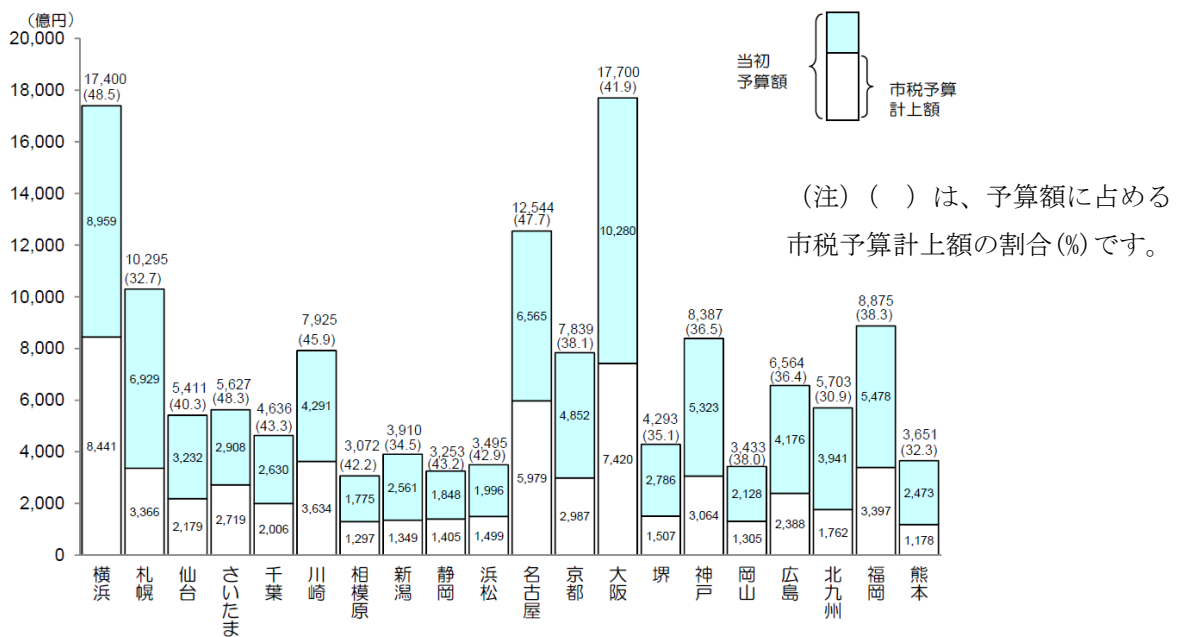
1 横浜市の財政状況の推移

(1) 一般会計予算額（性質別）の推移（「令和2年度横浜市予算ひと目でわかる横浜の財政」より抜粋）



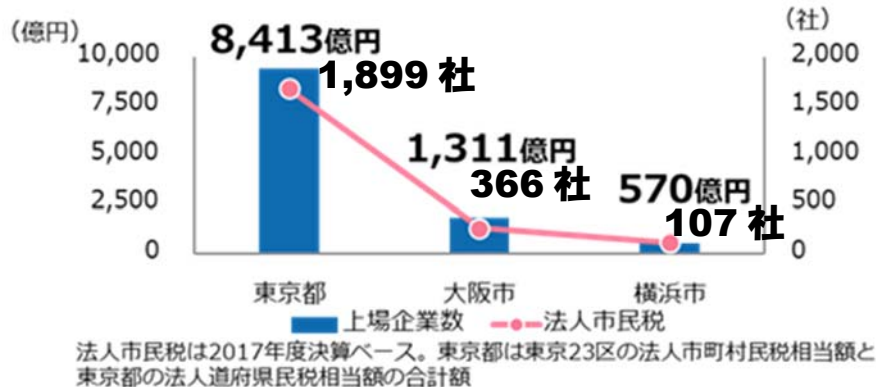
(2) 政令指定都市一般会計当初予算額と市税予算計上額の割合

（「横浜市 財政のあらまし 令和2年度(I)」より抜粋）



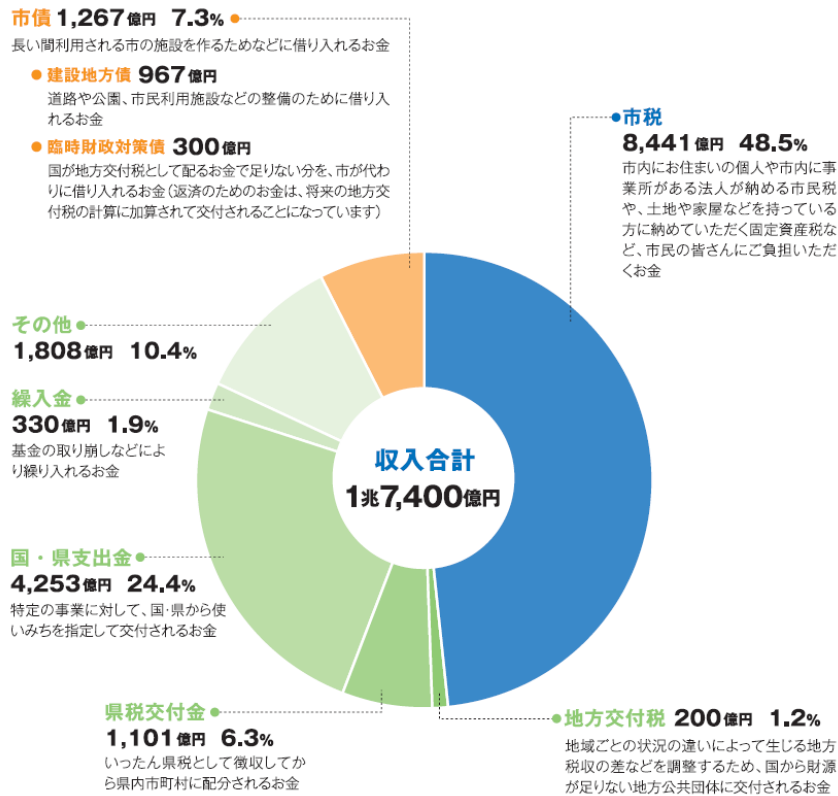
(注) () は、予算額に占める市税予算計上額の割合 (%) です。

(3) 法人市民税と上場企業数（「令和2年度 横浜市予算ひと目でわかる横浜の財政」より抜粋）

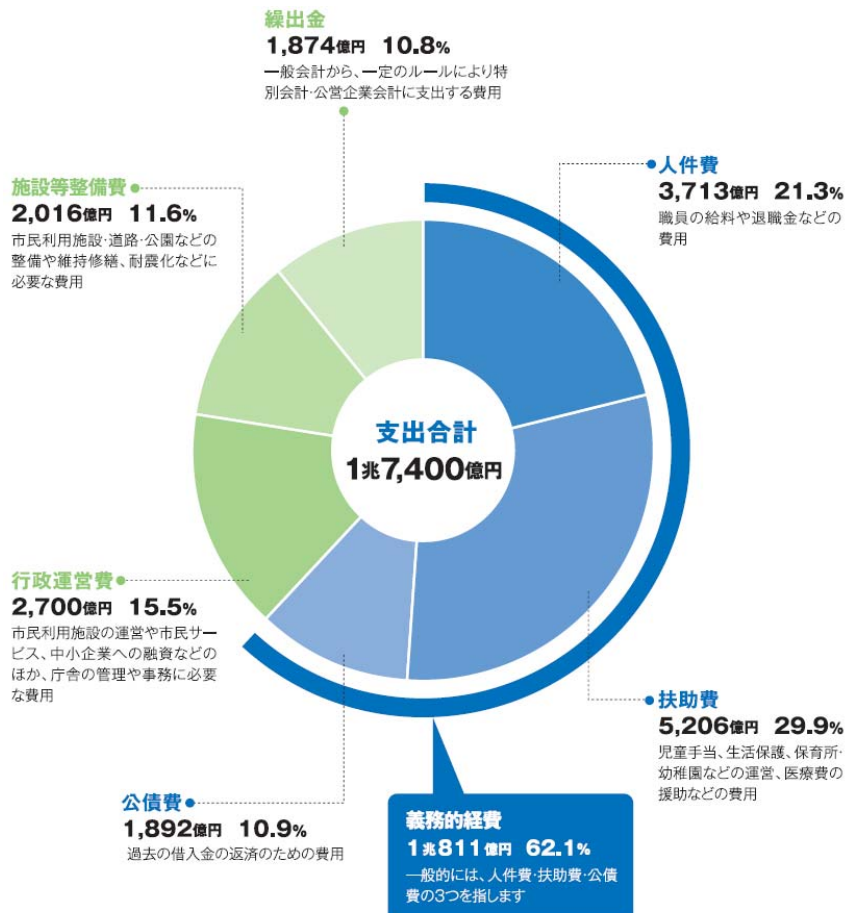


2 収支の内訳

(1) 一般会計歳入の内訳（財源別）（「令和2年度 ひと目でわかる横浜の財政」より抜粋）



(2) 一般会計歳出の内訳（「令和2年度 ひと目でわかる横浜の財政」より抜粋）

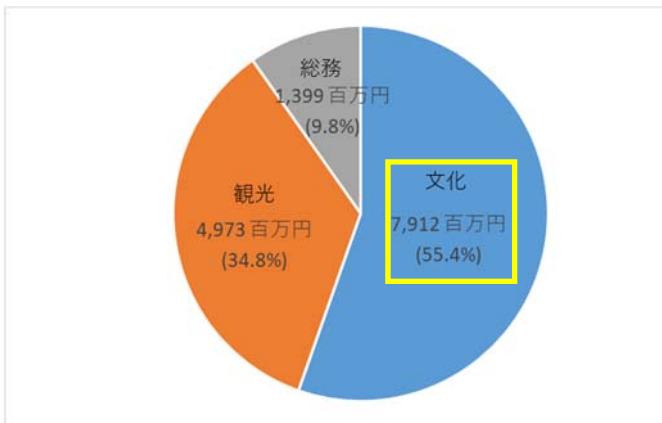


(3) 一般会計当初予算の使いみち（「令和2年度 ひと目でわかる横浜の財政」より抜粋）

子育て・教育に 子育て支援 市立学校などの設置・管理 保育所などの整備・運営支援 文化財の保護 学校教育 青少年育成 障害児支援 生涯学習の推進	5,794億円(15万4,512円) 33.3%
福祉・保健・医療に 生活福祉(生活保護、保険年金) 医療機能の確保 障害者・高齢者の支援 救急・災害医療体制の充実・強化 生活衛生 総合的ながん対策の推進	4,717億円(12万5,788円) 27.1%
道路・住宅・計画的な街づくりに 道路や河川の整備・維持管理 都市整備 再開発 住環境整備 市営住宅・公共建築物の整備・維持保全	1,690億円(4万5,079円) 9.7%
市役所の運営等に 市の計画策定 予算・決算の調製 選挙 人事 監査 議会	1,651億円(4万4,040円) 9.5%
横浜の魅力づくりや経済の発展に 多文化共生 中小企業の支援 観光MICEの推進 企業誘致・立地の促進 文化芸術創造都市による魅力創出 港湾整備・管理	992億円(2万6,441円) 5.7%
地球温暖化対策や水・緑の保全に 地球温暖化対策 緑地・公園・下水道施設の整備・維持管理	982億円(2万6,190円) 5.7%
地域づくりやスポーツ活動・区の運営に 地域活動支援 スポーツ振興 防犯 区役所の運営	551億円(1万4,700円) 3.2%
ごみの処理や減量・リサイクルに	436億円(1万1,618円) 2.5%
救急・消防に 救急、救助、消防 火災や災害の予防	424億円(1万1,309円) 2.4%
地下鉄・バス・水道事業に (一般会計から繰出金として支出する分)	163億円(4,336円) 0.9%

(4) 令和2年度関連局予算

ア 文化観光局



ウ 市民局

個性ある区づくり推進費の一部(計1,141百万円)

- ・区民文化センター(9か所)の管理運営に係る経費

・関連局予算合計:約92億円

(この他、実質的な地域での文化活動の場となっている地区センターや公会堂などに関わる予算もあるが、文化芸術分野関連のみの予算を抜き出すことは困難なため、未計上。)

イ 教育委員会事務局

舞台芸術等体験事業 (計108百万円)

- ・バレーの世界
希望する市立小学校4年生が教員の引率のもと、バレー公演を鑑賞する。(1日2回公演×9日間)
- ・ふれあいコンサート
市立小学校の希望する1学年の児童が教員の引率のもと、みなとらいホールでオーケストラ演奏を鑑賞する。(1日2回公演×10日間)
- ・こころの劇場
希望する市立小学校から6年生が、教員の引率のもと、ミュージカルを鑑賞する。(1日2回公演×4日間)

3 市債の状況

(1) 中期4か年計画2018～2021期間中の市債発行と横浜方式PB

(「横浜市 財政のあらまし 令和2年度(I)」より抜粋)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公債費元金①	1,455億円	1,477億円	1,546億円	1,550億円
市債発行額②	1,700億円	1,792億円	1,267億円	1,270億円
建設地方債	1,148億円	1,367億円	967億円	990億円
臨時財政対策債	552億円	425億円	300億円	280億円
横浜方式PB①-②	▲245億円	▲315億円	+279億円	+280億円



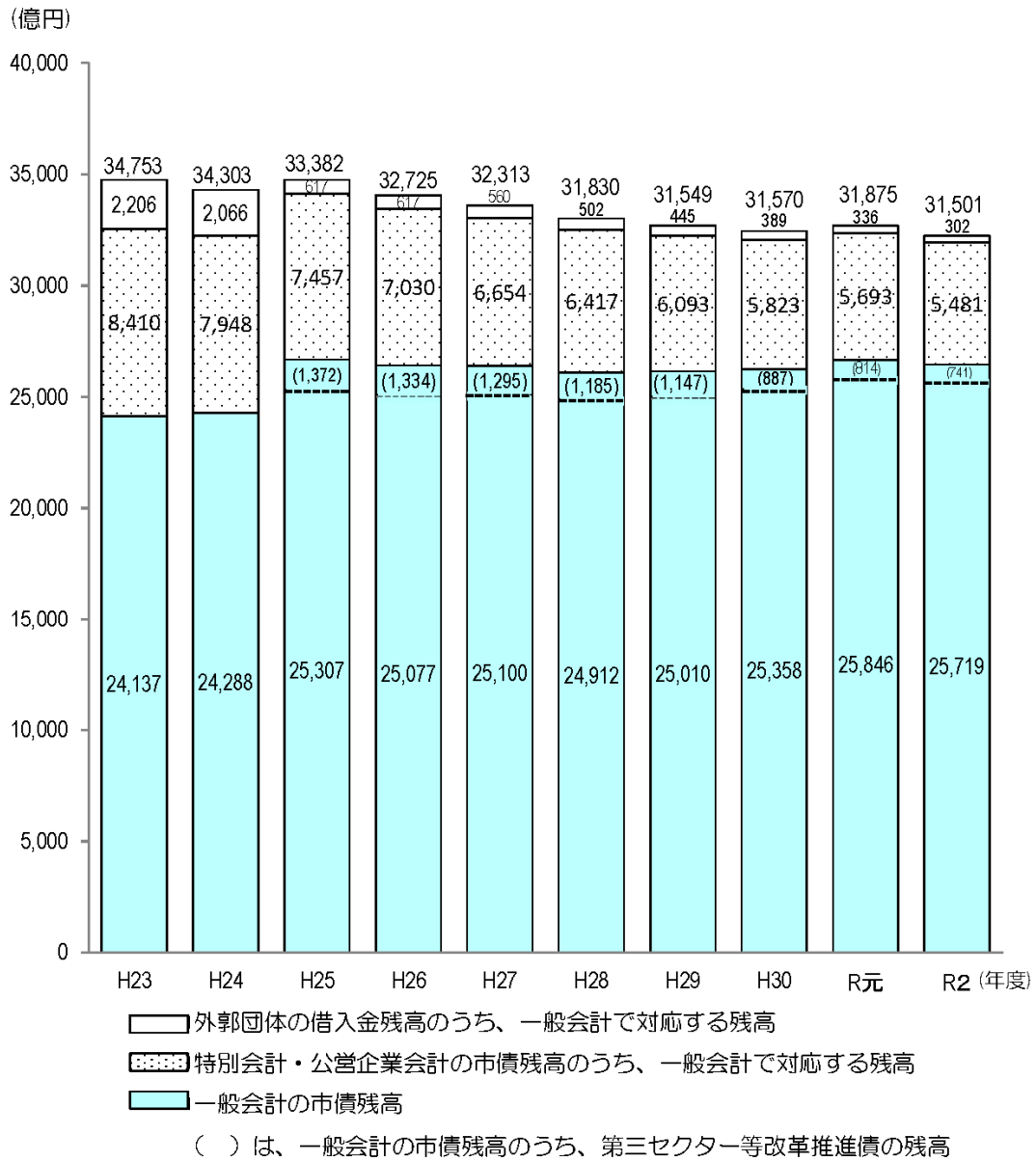
(2) 各会計の借入金残高と一般会計が対応する借入金残高の内訳

(「横浜市 令和2年度予算案について」より抜粋)

借入金の内訳	令和2年度末見込み①		令和元年度末見込み②		増減額(①-②)	
	借入金残高	うち一般会計が対応するもの	借入金残高	うち一般会計が対応するもの	借入金残高	うち一般会計が対応するもの
一般会計の市債	2兆5,719億円	2兆5,719億円	2兆5,846億円	2兆5,846億円	▲127億円	▲127億円
特別会計・公営企業会計の市債	1兆5,607億円	5,481億円	1兆5,930億円	5,693億円	▲323億円	▲212億円
外郭団体の借入金	2,342億円	302億円	2,511億円	336億円	▲169億円	▲35億円
合計	4兆3,667億円	3兆1,501億円	4兆4,287億円	3兆1,875億円	▲619億円	▲374億円

(3) 一般会計が対応する借入金残高の推移

(「横浜市 財政のあらまし 令和2年度(I)」より抜粋)



(注) 平成30年度までは、決算数値です。令和元年度は決算見込額、令和2年度は当初予算額に令和元年度決算見込額を反映した見込額です。